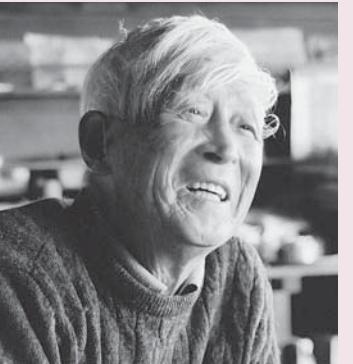




The memories of the breeze gently tell the tales of people's lives and loves.
The tales prove that they are forever beautiful, noble and venerable.

和风的记忆轻轻诉说着人们生于此、爱于此的见证。
这些见证便是那些永远美丽、高尚、珍贵的东西。

산들바람의 기억은 사람들이 살며 사랑한 증거를 넘지시 말해 준다.
그 증거는 영원히 아름답고, 기품 있고, 고귀한 것이다.



■ 佐竹 徳(1897~1998)

明治30(1897)年、大阪市生まれ。本名・徳次郎。鹿子木孟郎、藤島武二などに学ぶ。大正6(1917)年20歳のとき、文展に初入選。以後帝展、新文展、日展に出品を続け、4回特選を受賞。昭和21(1946)年戦災を契機に名前を「徳」と改める。平成3(1991)年日本芸術院会員となる。

牛窓を訪れた際に、その赤い土とオリーブの緑に強く心を引かれた佐竹徳は、その後オリーブ園の「赤屋根」をアトリエとして制作活動を続けました。新日展で内閣総理大臣賞を受賞した作品「オリーブと海(牛窓)」で翌年、日本芸術院賞を贈られ、「自然に対する謙虚な態度をもつて、その美をよく表現し得た優作である」と認められました。晩年までオリーブ園で描き続け、「オリーブの画家」として名を馳せました。



「オリーブの丘」(1964年)
昭和39(1964)年第7回新日展出品作
(112.0×145.3)



瀬戸内市立美术馆
地図p12
瀬戸内市立美术馆は、瀬戸内市役所牛窓庁舎の3・4階部分を改築し、平成22(2010)年10月に開館しました。佐竹伯の作品を常設展示しています。

佐竹徳



■ 竹田喜之助(1923~1979)

大正12(1923)年、邑久町尾張生まれ。本名・岡本隆郎。東京大学在籍中に結城孫太郎の一座(後の竹田三之助一座)に入座。昭和30(1955)年、竹田人形座が旗揚げされ、竹田喜之助となる。「雪ん子」が昭和32(1957)年文部省芸術祭奨励賞受賞。多くの民話や童話も手がけ、約2,600体に及ぶ人形を制作。

世界的糸操り人形師として知られる竹田喜之助も瀬戸内市に生まれました。人形に機械工学の知識と技術を取り入れる一方で、使用材料に画期的な工夫を凝らし、従来の人形に新しい生命を吹き込みました。どの人形も彼の優しく温かく厳しい人柄を映し出し、見る者に深い感動を与えます。

竹田喜之助



■ 邑久郷土資料館
地図p12
「喜之助記念室」「喜之助フェス記念室」に喜之助人形をはじめとする人形、関連資料等を展示。

■ 一主な作品一
少年太閤記(昭和30年)、宝島(31)、竹取の翁(31)、雪ん子(32)、孫悟空(34)、宇宙船シルカ(35)、ボボロコスほん(36)、双子のこぐま(37)、銀河少年隊(38)、鶴の笛(41)、黒姫ものかわ(42)、ダット君(42)、赤鬼ボンボ(42)、明治はるあき(43)、空中都市008(44)、つる(45)、ブルル君(48)、泣いた赤鬼(48)、童の子太郎(49)、ぼっこうさん(50)、百合若(50)、わらべ唄・夏冬(52)、ヘンゼルとグレーテル(53)

雪ん子

セトウチの郷土

セトウチの郷土は、瀬戸内市で多くの偉大な芸術家が輩出された場所です。中でも竹久夢二は、その豊かな想像力と優美な筆触で、瀬戸内の風景や人々の姿を美しい絵画で表現しました。また、佐竹徳は、オリーブ園での創作活動で有名です。これらの作家たちの功業は、瀬戸内の文化遺産として今もなお尊ばれています。

瀬戸内の浪漫

瀬戸内市は、大正浪漫主義の抒情画家として知られる竹久夢二の故郷です。彼の絵画は、瀬戸内の風景や人々の姿を優美に描いており、多くの人々に愛されています。

Romance of Setouchi

Setouchi City has produced many great artists. Among them is painter Yumeji Takehisa. His works exude the sense of graceful calm and elegance, like the gentle breeze over the sea of Setonai. Puppeteer Kinosuke Takeda gave new life to traditional puppets by exercising ingenuity on the materials used, while incorporating the knowledge and technology of mechanical engineering into the puppets. Painter Toku Satake was strongly drawn to the red earth and olive trees when he visited Ushimado, and produced work in his studio called "Akayane" set within an olive grove.

瀬戸内市は、偉大な芸術家を輩出していきます。いわゆると知れた大正浪漫の抒情画家・竹久夢二。恋に生き、そしてそれを自らの芸術へと昇華させたこの偉大な芸術家は、この地に生まれました。この瀬戸内市の穏やかなやさしい気候が、彼に影響を与えたのでしょうか。彼の作品からは、瀬戸内の海のそよ風のような上品な穏やかさと優雅さが感じられます。



■ 竹久夢二(1884~1934)

明治17(1884)年、邑久郡本庄村(現在の瀬戸内市邑久町本庄)で生まれ、16歳までこの地で過ごす。独学で絵を学び、21歳で挿絵画家としてデビュー。明治42(1911)年に出版した「夢二画集 春の巻」で一躍人気画家に。特有の美人画を確立したほか、多くの詩も残す。

竹久夢二



■ 少年山荘
地図p12
夢二の生家を復元した施設で、夢二の生家と隣接する形で建設されました。内部には、夢二の生家と同様の構造や装飾が再現されています。



■ 夢二生家
地図p12
夢二の生家を復元した施設で、内部には、夢二の生家と同様の構造や装飾が再現されています。



そよ風の記憶は、人々が生き愛した証をそっと語りかける。
その証は永遠に美しく、気高く、尊いものなのだと。

瀬戸内の浪漫

